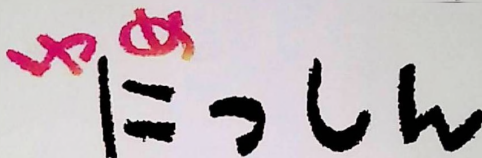




「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会
文京5-1-8 日新公民館
発行日：2012年6月20日

日新
苟日新 苟に日に新たに
日日新 日々に新たに
又日新 又日に新たなり
出典「大学」



音楽のまち「にっしん」と交流できる喜び

第34回地区体育大会で「藤中」吹奏楽部が演奏

5月20日、本校吹奏楽部が日新地区体育大会での演奏のご依頼をいただき、開会式での入場行進曲や昼休憩時のアトラクションで演奏させていただきました。子どもたちにとっては慣れない野外での演奏で、お聴き苦しい点多々あったかと思いますが、区民の皆様には温かく受けとめていただき心から感謝申し上げます。
本校吹奏楽部は現在51名、校区には3校の小学校があります。日新地区の生徒がもっとも多く、半数近くを占めています。地区内には音楽家の方が何人もおられ、日新小学校合唱団出身の子も多数在籍しています。

日新公民館にいと、福井商業高校吹奏楽部の美しい音色が響いてきますし、音楽文化が根付いている地区だなあとしみじみ思います。

3月には念願だった日新小学校合唱団とジョイントコンサートを開催しました。そして、先日の体育大会での演奏、さらには7月に日新公民館主催『ハートフルサタディ』出演…。このように、音楽のまち“にっしん”との交流が今後ますます深まっていくことに心から喜びを感じています。

藤島中学校吹奏楽部 顧問 長崎充博



底喰川 その9

一源流を訪ねて一

底喰川源流は九頭竜川ではない、芝原用水でもない、田んぼの落とし水・排水溝であることを知った。田んぼに使った水がビニール排水管を通して、排水溝に流れ出て、やがて幅1~2mのまっすぐな排水路となった。用水路と排水路が整然と整備されたのは、この地域が区画整理された50年代であることは、ウォーク塗上で出あった幾つかの土地改良記念碑で分かった。

この東藤島地区で発した田んぼの落とし水が底喰川となり、住宅密集地を通して日新地域に、そして日野川に合流している。この間、自然の雨水や家庭から出る汚水、投げ捨てられる廃棄物も受け入れて、街中中の「ぐねぐね曲がり」の未改修の底喰川に流れ込む。

集中豪雨に見舞われると「洪水」の被害をもたらす。

(西)

町屋地区では3~4mの川幅
日新地区では16m



わがまち匠

創作紙粘土人形 ロマンドール

師範 林加代子さん (59) 乾徳1

今から四半世紀も前のこと、大好きな金沢のまち歩きを楽しんでいた林さんは、とあるお店のお人形に引き寄せられるように中に入り、そして魅せられた。それがロマンドール。以来、子育てや両親の介護をしながらこの道一筋23年、現在市内各所で約30名の生徒さんを指導しながらロマンドール人形の他、陶磁器やジュエリーを使った雑貨などを制作しておられる。

林さんのお人形に対する打ち込み方は相当なものであるらしく、ある時には気に入るまで作り続けたお人形が8体も並んでしまったそうだ。ロマンドールは洋風人形が基本だが、昨今は“和”との融合に新たなお人形の世界が見えてきたそうだ。ロマンドール専用の紙粘土で顔や手を作り、目鼻を入れる時は緊張が走る。そこに手作りの洋服を纏わせて、創作の世界が広がる・・・。

自宅アトリエには、幻想的なムードのなかにビュアなお人形や小物、クラフトがいっぱい!!

乙女心が、揺さぶられた。
県立美術館、金津創作の森など多数出展 10月6、7日には滋賀県長浜市黒壁スクエアにて出展予定。(村上)



日新春秋

日新地区
自主防災連絡協議会
前会長 阪井一彦

人間にとって一番たいせつなものは生命・身体・財産の保全です。近年では度重なる地震や風水害により多くの人命が奪われ貴重な財産が失われていきます。平成七年一月に発生した阪神・淡路大震災では近代都市が一瞬にして崩壊し、六千四百余名の尊い命を失いました。また、昨年三月の東日本大震災はマグニチュード9の大地震でした。地震と大津波により死者・不明者一万人九千人が犠牲となりましました。災害は歳月に流され、忘れがちです。残された教訓と反省は真摯に受け止め同様な惨事を二度と繰り返さないように努めなければなりません。
防災活動には自助、共助、公助があります。自助は防災活動の原点で、自分と家族は自分たちで守る。共助とはお隣さん同士での助け合いや、その延長である自治会等、地域での助け合いです。公助は公共の団体組織である消防や自衛隊による救援活動です。災害時の人命救援活動は時間との闘いです。その中で最も力を発揮するのは共助活動だと言われています。災害による被害を最小限に止めるには、消火・救出・応急手当等に対する初期的な組織活動がきわめて重要で、必要不可欠です。
日新地区の自主防災組織では『自分たちの地域は自分たちで守る』を合言葉に地区社会への貢献意識を醸成しながら、災害に強い地区社会づくりに努力、日々活動しています。



乾徳 関家

ボクは6月で2歳になりました。家族は5人と猫1匹でにぎやかに過ごしています。



文里 庄司家

次男(吉宏)の七五三詣りのスナップです。大きくなりました!! 優しいお兄ちゃん(明洋)と、歌の好きな長女(祐美)。父は写真が趣味。金環日食の写真は、NHKに出ました。母は、家族の笑顔が大好きです。



宮島 北川家

我が家は5人家族です。玄関先には、所狭しと5台の自転車が並んでいます。長男は、日新パンサーズで楽しく練習を頑張っています。みなさん、よろしくお願います。



誇りと夢・わがまち創造事業

交通部会 -11月の試行運行へ向けて-

「日新コミュニティバス」運行計画も3年目に入った。本年度は、最終の完成域とした。新自治会長の部会員を迎え、新しい気持ちと一致団結で推し進めていきたいと思っている。3月～5月は予定事業者である京福バス担当者からの貴重なご意見を伺い、一方、市役所地域交通課のご支援を仰ぎながら、運行コースの見直し、運行時刻表の設定、バス停の配置など詳細な「詰め」を実施してきた。我々交通部会の最大の願いは、ご利用される方「お客様」に利便性の高いコミュニティバスでありたい。また、より多くの地域住民に利用していただきたいと思っている。

最大の難関であった有識者会議『地域生活交通活性化会議検討会』を5月31日に乗り切ることが出来た。採算性、将来性など広範囲な審査を受け、一部課題は残っているが、日新コミュニティバスの運行構想は大筋で了承が得られた。今後は、運行事業者への説明、選定を経て道路運送法の許認可を得なければならない。あらゆる方策を取りながら、11月1日の試行運行実施に向けて前進あるのみである。進捗はやや遅れてはいるが、是非とも10月21日の公民館まつりには地域住民にプレオープンとしてご披露したいと考えている。それまでの間、カーブミラーの設置、スポンサーに広告の依頼側面へのデザインなど多くの作業が残っている。試行運行に向けて、交通部会会員は、精力的に進めたいと思っている。

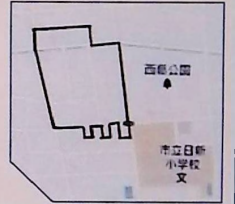


わがまち東堀ノ宮自治会

日新小学校の北西側、堀ノ宮地区の東に位置し、わりと閑静な地域です。東堀ノ宮自治会は、昭和46年頃に会員26名で誕生しました。当時は家の数も少なく、周囲は田んぼで、田植えの時期にはカエルの声も聞かれのどかな田園地帯でした。始めは西藤島地区連合会に加入していましたが、昭和51年の日新小学校の設立によって日新地区となりました。

自治会としては、年末に総会が行われ、堀ノ宮連合会に所属しており、地区体育大会には多数の人が参加し、上位入賞の原動力となっています。納涼夏祭りには、積極的に参加しています。また、秋祭りには、役員、子供会など住民参加で、お神輿の巡行などもあり、普段は静かな町内も、この日は太鼓の音やお神輿のかけ声で賑やかです。発足当時は少なかった世帯数も現在ではマンションをいれて81世帯になりました。自治会会員の意思疎通を、レクリエーションなどを通じてさらに高めたいと思っています。

自治会長 池上 信男



環境部会 一活動計画一

24年度は4月の定例清掃から始まった。地区の皆さんに少しでも気持ちよい憩いの場を提供しようという思いを新たにしている。公民館前のプランターはドウダンツツジの間に入れ、歩道のすつきり感と、目線で花を楽しんでもらおうと気分の一斬を図った。(写真1)

5月には、河川敷のみそぎ周辺の草刈り、草抜きを行うとともに花壇の草取りを実施。7月末にはみそぎもきれいな花を楽しませてくれるものと期待を膨らませている。ただ、少人数では、作業するにも限界があり、充分に対処しきれていない。やはり人海戦術の力は大きいと感じている。皆様のご協力をお願いします。(写真2)



文化部会 一行事予定一

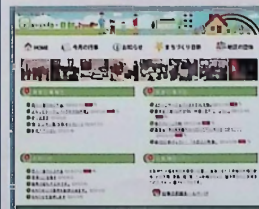
- ◇7月18日(水) 伝統文化体験学習支援
日新小6年生全員に生け花と茶の湯の体験の支援をする。
講師 「茶道」岡田えつ子氏 「華道」横山紀子氏
- ◇9月8日(土) 秋の七草観賞とお月見団子作り
秋の七草の実物紹介とお月見団子を作る。
他に楽しい遊びをおこなう。
- ◇10月20日(土) 公民館まつり前日祭
底喰川、西福井乾徳橋～玉川橋までの兩岸をウォークする。
1周後、お楽しみ抽選会とお蕎麦の提供がある。
- ◇2月23日(土) 百人一首かるた会
百人一首かるた取り、坊主めくり、日新かるた取りをする。
終了後、カレーの昼食会がある。



今年もものづくり(布ぞうり)、共通認識を高めるための環境学習会、そして「福井学」「子どもの広場」などのイベントを側面から支援していくことにしている。

また、福井土木事務所等の行政機関への働きかけを行い、地区の憩いの場「底喰川」を中心に、地区のさらなる美化に努めたいと考えている。

広報部会 一ホームページ「いいね・日新一



新年度、新委員の加入で部会は活発な意見が飛び交い、ゆめ・つつしの紙面にも反映できたかと思えます。ホームページを充実するのも今年の重点目標です。